



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2023年6号ブリテン 第389号

2022 - 2023年度主題 (Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「輝かそう、あなたの光を」 (デンマーク)
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 (台湾)
「未来へ向けて今すぐ行動しよう」 (甲府21)
「ワイズへの参加と交流を楽しもう」 (富士五湖)
「おしやべりワイズ～楽しく、明るく、美しく」

会長 荻 淵 光 彦
副会長 長 津 徹
書記 御園生 好 子
会計 柴 田 弘 子
直前会長 小 山 憲 彦
担当主事 鳩 山 徹 郎

Our Motto 国際標語
国際会長 ウルック・ラウロセン
アジア太平洋会長 シェン・チ・ミン
東日本区理事 佐藤 重 良
あずさ部部長 後藤 明 久
サンライズ会長 荻 淵 光 彦

6月第一例会のお知らせ

と き 6月8日(木) 18:00~20:00
と ころ 東京YMCA 山手センター
とうばん (巻組) 小山(久)、泉、荻淵、立田、長津

◆プログラム

開会点鐘	会 長
ワイズソング・ワイズの信条	一 同
ゲスト・ビジターの紹介	会 長
総会(予定)	
ハッピーバースデー	会 長
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
YMCA 報告	担当主事
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会 長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
伊丹亭 20:15~

6月以降の予告

6月 2日(土)~3日(日) 東日本区大会 甲府 13:00~
6月17日(土) 第二(お散歩)例会 東上線若葉 12:00~
◇夕方より打ち上げと会長ご苦労さん会を行います。
7月13日(木) 第一例会 山手センター 18:00~
7月25日(火) 第二例会 山手センター 17:00~

5年第一例会報告

大谷博愛



5月11日(木)18時より山手センターにおいて5月第一例会が行われました。完全な対面例会で、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条と久しぶりにオーソドックスなオープニングセレモニーが行われました。それに引き続いて鳩山哲郎さんによる卓話がありました。

鳩山さんはフロストバレー 出向から戻られたばかりのYMCAの職員で、この4月からサンライズの担当主事になられた方です。卓話は「野外教育の方向性 - フロストバレーの学びから」と題して、フロストバレーの6年間の経験を引用しながら、日本のYMCAの野外教育の在り方を語ってくれました。

「キャンプのYか、Yのキャンプか」と言われるほど野外教育はYMCAの看板事業の一つなので、YMCAそのもののあり方にも関わるお話でした。私達ワイズメンもYMCA活動に連なっているので、身近な話題であったために質問や意見がたくさん出てきました。鳩山さんが担当主事である間は、彼を中心にY談義で盛り上がりそうな予感がしました。

コロナ禍の名残りでテイスティング抜きでは 【お気へ続く】

6月のハッピーバースデー

29日 泉 文 雄 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

5月例会出席者

在籍 (内広義会員 2名)	16名
メン (Make up 1名)	10名
メネット・コメット	0名
ゲスト・ビジター	1名
出席率	79%

● 6月のBF切手：0.0kg (累計：2,658kg)

● ニコニコ：0円 (累計：4,000円)



ありましたが、開会点鐘から閉会点鐘までのいつものプロ蔵三・メニューをすべてこなし久々の例会らしい例会でした。その後、伊丹亭に場所を移して、本気で本音を語り合いました。

出席者：菰渕会長、飯野さん、江原さん、小山(憲)さん、柴田さん、立田さん長津さん、大谷、鳩山担当主事、ゲスト：蔭田さん、計10名。

5月第二例会報告

御園生好子

5月23日(火)17:00より 山手コミュニティーセンター
出席者：飯野毅与志、江原修一、小山憲彦、菰渕光彦、長津徹、御園生好子、鳩山徹郎担当主事

『議題』

○YMCA報告

山中湖センター100周年募金募る

募金委員会にはサンライズから菰渕さんに依頼

○6月8日(木)の第一例会は総会とする

○東日本区大会(6月3日～4日)はサンライズから7名参加

○在京会長会は5月27日(土)ハイブリッドで開催され参加

○サンライズ35周年記念例会(来年3月～5月)開催

実行委員長 江原修一

IBC等連絡担当 小山久恵

○ブリテン原稿割りふり

その後は、恒例の<本音で語ろう会>で、早く始まったにも関わらずいつもと同じでした。

あずさ部第3回評議会報告

長津 徹

5月13日土曜日、松本駅前会館で行われた「残雪のアルプス評議会」に出席しました。朝7時過ぎに池袋を出発し各駅停車を何回か乗換えて、4時間以上の車窓を楽しみながら余裕で1時間前には松本駅へ到着。開会が1時半だったのですが、なぜか大幅遅刻し途中参加となりました。評議会自体は滞りなく時間内に3時半に終了し、記念撮影の後、アカペラバンド「ハモラボ」のコーラス、松本周辺に展開している「丸の内ビジネススクール」の副校長サントヤ女子の講演と、学生・OB5名のプレゼンテーションがありました。それぞれタイやミャンマーから日本語とパソコンを学びに留学した彼ら、想いを語ってくれました。

お開きになって甲府のメンバーのマイクロバスに相乗らせて頂き松本駅へ。次の特急あずさまでの1時間を富士五湖のメンバーたちと駅前の居酒屋で楽しい時を過ごしました。
出席者 飯野 小山(憲) 菰渕 柴田 長津

2023-2024年事業計画と担当者(案)

長津 徹

◇35周年記念誌担当 小山憲彦

◇35周年記念会担当 江原修一 小山久恵(涉外)

会場 未定

時期 3月～5月

◇山中湖センター100周年担当 菰渕光彦

(山中湖センター事業全般も兼ねる)

◇YMCAサービス

山手センター、山手学舎担当 大谷博愛

山中湖センターワーク担当 菰渕光彦

◇CS

山中湖地域クリスマス担当 菰渕光彦

◇ユース

対象ユース 山手センターリーダー、山中湖センターリーダー、山手学舎舎生、およびOB、コメント

◇国際・交流

LINE担当 小山久恵

◇ドライバー

大谷博愛

山中湖センターだより

山中湖センター館長 中里 敦さん

5月の山中湖センターは陽が出ている時は半袖で過ごし、夜は寒くてストーブを使ったりと歓談寒暖ある季節です。そして木々や草花が元気になり始める季節でもあり、事務所から見えていた湖畔も葉に覆われて見えなくなりました。草木が一気に成長する姿は生命の力強さを感じます。富士山の雪化粧も少なくなり少しずつ冬から夏の姿になってきました。富士山と同じようにスタッフも体も気持ち夏のシーズンを迎えられるよう準備をしていきたいと思ひます。

第二回日本酒学講座

江原修一

世界中に酒が有ります。「醸造酒」という言葉をお聞きになったことは有りませんか。日本酒は醸造酒(原料を発酵、および糖化発酵させてそのままのもの)です。日本酒は基本的に3段仕込みという製造法で行います。最初に小さなタンクで酒母(麴米+掛米+水に酵母を振り掛け、酵母を培養し酵母を増やす)を造ります。酒母は日本酒造協会の認定酵母と各蔵の蔵付き酵母があります。また各県の醸造試験場で県オリジナル酵母を開発している県も多数あります。高知県醸造試験場で開発したCEL酵母というオリジナル酵母を、だいぶ前にロシアのロケットで宇宙まで運んで、その酵母により県内各蔵で造った酒を土佐宇宙酒として販売した事がありました。酒母が出来上がったら、1段目の仕込み用の麴を造り、1段目仕込み用の掛米を蒸して、酒母+麴+仕込み水をタンクに入れ蒸し上がった掛米を投入して1段仕込み(添え仕込み)。2日後麴+仕込み水+掛米を投入して2段仕込み(仲仕込み)。翌日麴+仕込み水+掛米を投入して3段仕込み(留め仕込み)を行い3段仕込みが完成します。投入するコメの量は1段目:2段目:3段目=1:2:4程度だそうです。醪(モロミ)の製造期間はアルコールの度数に抛りますが現在の一般的製造法(即醸)で製造期間はおよそ30日前後だそうです。アルコール度が18度を超えるとアルコールを造った酵母が死んでしまい美味しい酒にならないようです。毎日杜氏が醪を観察して出来上がったら、醪を絞って出来上がりです。液体はお酒、絞った後には酒粕が残ります。また、蔵付き酵母のみを使用して酒を醸造している蔵は殆んど無いとの事です。

上記の事は私と同年の高知県安芸・南酒造の河野杜氏に教えて頂きました。

日本酒はタンクの中で米を2段醸造します。(炭水化物)→(糖)→(アルコール)に変えています。ワインも醸造酒ですが(糖)→(アルコール)の1段醸造です。因みにビールも醸造酒です。

私は日本酒が世界一美味しい酒だと思えます。理由は日本人用に太古から製造していて日本人に合わせて醸した酒だからです。

酒の種類で蒸留酒というのが有ります。焼酎・ブランデー・ウィスキー等です。基本的に蒸留することによりアルコール度数はかなり高くなります。アルコール度数はウォッカが一番ではないでしょうか。日本酒を蒸留すると米焼酎になり、ワインはブランデーに、ビールはウィスキーに成ることになりますが、美味しいかどうかは判りません。今度河野杜氏に聞いておきます。

尚、機会があればゲストスピーカーで河野杜氏に日本酒の話をしてもらおうと想うのですが、高知から来る予定が合えばと思っています。彼の特技は、1にイノシシ撃ち、2に四万十川のアユ釣り、3に米作り、4に酒造りと以前言っていました。

編集後記

このところ毎月3頁ですが何とかブリテンを発行しています。▶

2023年6月1日発行

東日本区理事 佐藤重良

メンバーの皆さまは、サンライズWebサイトに保存されておりますので、そちらにアクセスしてご覧ください。

【<http://yssunrise.com/wine.html>】

部長通信、ブリテンのバックナンバーもご覧いただけます。

YMCA News

山手センター 鳩山哲郎さん

★東京MYCAウェルネスガーデン品川御殿山オープン★

2023年4月、品川区北品川に「東京YMCAウェルネスガーデン品川御殿山」が誕生しました。景気も悪く、コロナの影響もある中、新拠点をオープンするのは全国的にも珍しく、全国のYMCAからも大いに期待されています。現場スタッフの努力の賜もあって、200名を超えるメンバーを迎えスタートしています。立ち上げから運営まで20・30代のスタッフが中心的に担っているのも大きな特徴です。ぜひ応援していただければ幸いです。

★サマープログラム受付開始(6月16日～)★

キャンプ、水泳、英語、カルチャーなど、夏休みの間に多種多様なプログラムが開催されます。2020年から2年間ほどサマープログラムもほとんど実施できず、2022年は様々な対策を講じたり、定員枠を制限したりしながらの実施となりました。今年はコロナも感染法上の分類が5類になり、対策は講じながらも以前に近い形での実施が予定されています。プログラムの安全をお祈りいただければ幸いです。

★山中湖センタ100周年進捗★

100周年プロジェクトの検討が進んでおります。人と人との直接的なつながり、コミュニケーション能力、問題解決能力、あるいは忍耐力、やり抜く力、立ち直る力などはコロナ渦を経て子どもたちに大きな影響を及ぼしました。チームビルディングのためのリソースやクライミング施設の設置は、これらの力を育みうるものだと思います。プロジェクトの一つとし、ぜひ設置を実現したいと思っています。その他、宿泊棟のリノベーション、財政的な困難を抱えた子どもたちを山中に招待するなどの案も出ています。引き続きお支えのほど、よろしく願い致します。

第二(お散歩)例会 & 会長ご苦勞さん会

お散歩委員会

6月第二例会はお散歩例会です。今回は東武東上線若葉駅に12時に集合して、昼食後松本さんのお宅の近所を散策し、夕方5時から若葉駅の近所で打ち上げを兼ねて会長のご苦勞さん会を開催します。散歩しなくても最後だけはぜひご参加ください。

▶ 区大会や評議会・例会でリアルな集まりが増え、ブリテンも充実するでしょう。集まって交流できればブリテンの原稿も活き活きしたものになりページも増えるでしょう。(Non.O)